

令和5年度法学部編入学試験【出題の意図】

法学概論

この問題では、日本の近代法に関する基本的な知識を問うことを目的としている。「ボワソナード」と「法典論争」というこの二つのキーワードは、日本法制史の分野で知られているだけでなく、おそらく、どの民法の基本書を見ても登場するはずである。神戸大学法学部でこれから真剣に勉強していこうと考えている学生であれば、最低でも民法の基本書は全体的に抑えていると考え、出題した。

一般教養

誰が議員に選ばれるかは民主主義の重要な問題であるため、世襲議員をテーマとした。問1では、文献を理解し整理して表現する能力を問うている。問2、3では、日頃から社会の課題に関心を持ち、それに対して根拠をともなって分析・解決する能力を問うている。